

# 令和元年度 山城地方

## 「幼小接続カリキュラム実践交流会」開催

～11/12(木)京都府総合教育センターにて 幼・保・認定こども園・小・行政から133名が参加～

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活かした幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して、幼小接続の「仕組みづくり」を推進するため、実践事例を交流し日々の教育実践に活かす具体的視点を学ぶとともに、教職員・保育士間の連携を深めることを目的に、開催いたしました。

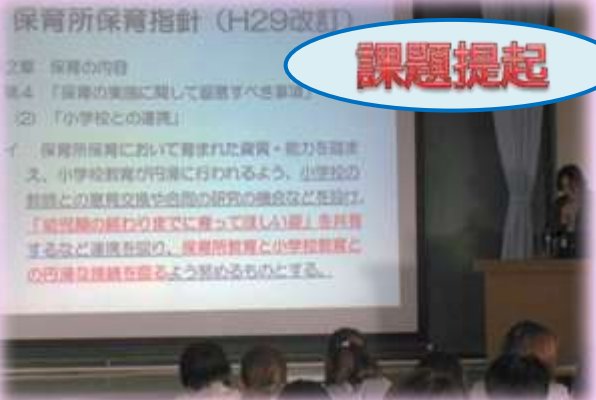
平成29年度の幼児期の教育に係る要領・指針 改訂により、幼稚園・保育所(園)・認定こども園における保育内容の整合性が図られました。幼児教育の施設で行う保育を互いに交流・共有することを通して学び合い、より保育の質を高めていくことが求められています。

また、幼小接続においても、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指し、接続期カリキュラム(アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)のさらなる充実を図る必要があります。

### 開会行事



### 課題提起



### 参加者の感想より

- ◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を改めて意識するよい機会になった。幼小の円滑な接続のために考えなければならないポイントを、総合的にとらえることができた。
- ◇「10の姿」の話から、幼児期は遊びの中から学ぶことがたくさんあるのだと改めて思った。
- ◇幼児期の教育要領・指針で「横のつながり」ができ、「10の姿」を意識して育ててきた子どもたちを小学校でどのように迎えるか、新たに考えていく必要があるのではないかな。
- ◇円滑な幼小接続のために、意味のあるカリキュラムづくりを心がけていきたい。

### 講演

「幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続に向けて」  
鳴門教育大学大学院 木下 光二 教授

たくさんの写真とエピソードで、幼児期の「学び」について、具体的にお話いただきました。

### 参加者の感想より

- ◇園所で学んできた子どもたちの力をそのままスムーズに伸ばすため、小1での学習のさせ方を考えていきたいと思った。
- ◇評価や指導内容のことだけに注意しすぎて、生活の中から生まれる成長に目を向けられていなかったと振り返った。
- ◇木下先生の講演はいつも分かりやすく、幼稚園で大切にしていることを小学校の先生に伝えてくださり、嬉しい。





幼稚園・保育所  
(園)・こども園・小学校  
の先生方 混合で編制した  
グループでそれぞれ話し  
合い、授業1コマ分の学習  
計画を考えました。

※3ページ参照

## ワークショップ①

「幼児期の育ちと学びを活かした  
小学校 学習計画の作成」

第1学年 算数科「たしざん(1)」の  
導入場面を考えよう

### 参加者の感想より

- ◇小学校の学習の到達的にはがれずに、幼稚園等で経験している遊びを活かして導入に取り入れ、授業を展開していくことで、子どもたちの興味関心を切らすことなく学べるということが分かった。
- ◇1年担任をしているので、今後の授業づくりに生かしたい。園の先生方の意見がとても参考になった。
- ◇幼・小それぞれが意見を出し合い、同じ目標に向かって進めていくことがとても楽しかった。このように幼小が連携し、教育を進めていけるといいなと思った。
- ◇小学校の先生方の考え方をお聞きし、「学び」や「学びの見方」に大きな違いがあることが分かった。
- ◇今、園でやっていることが、後々の「足し算」につながっていくことが理解できた。
- ◇園での遊びと小学校での学びを合わせるととても楽しい授業になることが分かった。今後に役立てたい。
- ◇園からの見方、小学校からの見方をお互いに理解し合い、スムーズな接続をしていきたい。



各校・園(所)よりお持ちいただいた  
スタートカリキュラムや日案・週案などをグループ内で  
交換し、幼小連携・幼小接続に関わる取組等について  
の実践を交流しました。

## ワークショップ②

### 参加者の感想より

- ◇他の学校や幼稚園等がどのように交流しているのか、知ることができた。
- ◇学校や園所によって、全然違うと改めて思った。とても参考になった。
- ◇小学校担任が、もっと保・幼・こども園のことを知るべきだと改めて思った。
- ◇スタートカリキュラムや入学に向けた幼児期のカリキュラムを比較し、今後の活動の参考になった。



- ◇園では、月案・週案・日案と、びっしり書いておられて驚いた。計画的にされているのだなと思った。
- ◇園・小それぞれに環境が違うため、接続の難しさも分かった。簡単にできる交流も知ることができた。
- ◇もっと気軽に、幼稚園・保育所・こども園から小学校に授業参観に来てもらえたらいいのに…と思った。
- ◇小学校の先生からの話を聞いて、園でできることを考えていくよい機会になった。
- ◇幼小互いの違いに気づくことができた。幼児期から就学への違いを少なくし、育ちと学びをつなぎたい。

# ワークショップ①

「幼児期の育ちと学びを活かした  
小学校 学習計画の作成」  
第1学年 算数科「たし算(1)」の導入場面を考えよう

どのグループも、素敵な学習計画が完成しました！当日は、代表グループのみの発表となりましたが、「他のも見えてきたかったです」という貴重なお声をいただきましたので、いくつか掲載します。次回の実践交流会では現物を見ていただけるよう会場に掲示したいと思います。

### あわせていくつ 'いろみずをつくらう'

1. 赤と青の色水の数をグループで考える。

2. 空のカップにそれぞれの色水を数えながら入れる。

3. 大きな容器に数えながら入れてやる。

4. まとめ

10個の空の容器を用意する。

10に全部使わなくていい。

$4 + 2 = 6$

水はなにいろになんか？

### あわせていくつ 'てるてるぼうずをつくらう!'

1. 遠足が晴れるようにてるてるぼうずをつくらう。

① ティッシュをよるわら。

② 花紙で包む。(五色用意する)

③ 10分で好きなだけ作る

2. 数をかかえる。

① 自分が作った数をかかえる。

② 色分けし数える。

③ 隣の人とあわせて数える。

3. たしかめる、発表して掲示する。

### おたまじやくしとつがまえよう

1. おたまじやくしをつくらう!

2. おたまじやくしをつくらう!

3. おたまじやくしがまえよう! あわせていくつ!

$3 + 2 = 5$

あわせていくつは たし算とつがまえよう

### いももちなんこできたかな

1. 前年度一緒に植えたじゃがいもを収穫する。

2. 収穫したじゃがいもでいももちを調理する。

3. 1年生と5歳児のペアを作り、できたいももちの数をあわせてなんこになるか かかえる。

### しゅりけん にんじゅ

1. しゅりけんをおりがみでおる。

2. 床にテープの的をつくる。

3. 1人5こずつ投げる。(的に入ったら)

4. 2回投げて1目目と2目目の点をたす。

5. だれがしゅりけんチャンピオンになれるかな?

### たががやがししよう!

おんちをおんちで作品(作り)!

おんちをおんちで作品(作り)!

おんちをおんちで作品(作り)!

おんちをおんちで作品(作り)!

### ボーリングあそびをしよう

1. 園児と小学校にしようとして 'ペットボトルボーリング'で遊ぶ。

2. 合同でボーリングあそびを考える。  
まどとたちの発想でピンを普通などのピンにする。

3. 小学生と園児のペアになって遊ぶ。

4. AはO本、BはO本、あわせてO本 vs CはO本、DはO本、あわせてO本

5. まとめ  $O + O = O$  で遊ぶことを知る。